

会 議 録

会議等の名称	令和3年度 第1回東御市スポーツ推進審議会	開催日時	令和3年 11月 2日 (火) 午後 2時 30分～午後 4時 00分
		場 所	東御市役所本館 2階全員協議会室
主催者(事務局)	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課	司会者	企画振興部 小菅部長
出席者	<p>[委員] 会長:横田 匡俊 職務代理者:三溝 和子 神津 志保美、加藤 行孝、荻原 太郎、岡田 真平、上原 真美、篠原 博文</p> <p>[オブザーバー] (公財)笹川スポーツ財団 小淵 和也</p> <p>[事務局] 企画振興部長 小菅 武志、文化・スポーツ振興課長 滝澤 嘉紀、スポーツ係長 掛川 一郎 スポーツ係(地域おこし協力隊) 鈴木 清香、スポーツ係 事務担当 佐藤 和歩</p>		
欠席者	<p>[委員] 所 繁未、唐澤 光章、吉澤 基、峯村 文博、柿沼 宏直、武田 順子、廣田 美和子</p> <p>[アドバイザー] 武庫川女子大学教授 柳沢 和雄</p>		
議題等の内容	<ul style="list-style-type: none"> 東御市スポーツ推進計画前期アクションプランの進捗状況について 東御市スポーツ推進計画後期アクションプランの方向性について 後期アクションプラン策定スケジュールについて 		
決定事項 (要点を箇条書き)			
次回への検討事項			

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容(要点のみ記載)
1 開会	職務代理者	開会
2 会長あいさつ	会長	会長あいさつ
3 市長あいさつ	市長	市長あいさつ

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容(要点のみ記載)
4 審議事項 (1) 東御市スポーツ推進計画前期アクションプランの進捗状況について (2) 東御市後期アクションプランの方向性について	会長	東御市スポーツ推進計画前期アクションプラン進捗状況について事務局から説明を願う。
	事務局(掛川)	東御市スポーツ推進計画前期アクションプラン進捗管理総括表(戦略別)について説明
	会長	戦略1については、今後の方向性が見直しとなっているが創設を辞めるわけではなく、創設はして、発展的に次の段階に行くという認識でよいか。
	事務局(掛川)	そうである。
	会長	戦略1についてご意見あるか。
	委員(加藤)	スポーツの指導者の件について、色んな企業の理解・協力を得られないとなかなか進まない。企業の皆さんと話をしたうえで指導者の出すことで企業に恩恵が得られるような方法を模索してもらいたい。市報やFMとうみで積極的に表彰する等メリットがある仕組みづくりを望む。

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容 (要点のみ記載)
<p>4 審議事項</p> <p>(1) 東御市スポーツ推進計画前期アクションプランの進捗状況について</p> <p>(2) 東御市後期アクションプランの方向性について</p>	会長	重要な指摘である。人財バンクは世の中に数多くあるが、使われていないものもある。東京都では、企業で認定制度など取り入れているところもある。あくまで使える人財バンクとなるようにしていく必要がある
	委員 (上原)	げんき塾が和小学校で開催された際に参加した。東御清翔高校の生徒もボランティアで参加しており、高校生と小学生が触れ合う貴重な機会となっており、小学生がいきいきしていた。今後もそういった交流を続けてもらいたい。
	委員 (加藤)	今後、教育も大切な一つの論点であり、スポーツを通じた人を思いやる心、倫理、道徳を教えるのは大事である。
	会長	コロナ禍で改めて見直されている観点である。
	委員 (篠原)	スポーツ推進委員の活動内容がいまいちわかっていない。今後の活動の中で情報を公開していき、役割を市民に周知していき、人財バンクとの住み分けをしっかりとする必要がある。
	会長	後期アクションプラン策定の過程で、関係者と意見交換をしながら丁寧に進める必要がある。
	委員 (神津)	総合型地域スポーツクラブについて、スポーツは場所が整えられている状況で行うことのほかに自分から自発的にスポーツを行いたいときにやる場所があるのが大事。そういったときに総合型地域スポーツクラブがどういう風に活動できるかを入れてほしい。そうすれば日常的にスポーツのできる場になってくるのではないかと感じた。
	会長	戦略2についてご意見あるか。
	委員 (篠原)	人財バンクの関係もそうだが、地域との連携することがスポーツ推進委員役割のやくわりとして大きくなる。今まではあるスポーツに対しての支援だったが、これからは子供たちの運動遊びや幼児の里山運動のようなメニュー化をしていき、底辺の拡大をしていくことが役割となるのではないか。
	会長	見直しではなく、発展的継続にした方が良いのではないか。
	会長	戦略3についてご意見あるか。
	会長	このコロナ禍での12,000泊はすごい数字であり、オンリーワンの強みがある。
	委員 (篠原)	今後の方向性にある、・トップアスリート誘客・インナー施策の充実・長野国体に向けた県内アスリートの宿泊誘致とあるが、・ではなく、1.2.3と大きくとらえて、重点的な取組である標記にした方がよい。
	委員 (荻原)	先日湯の丸の施設を見た。プールの深さ、距離からトップアスリートが使う施設だと感じた。一般の方が使うのは難しいと感じた。
	会長	基本的な仕様はトップアスリート向けとなっているので、それをどう活用していくか知恵を出していく必要がある。
	委員 (加藤)	<p>戦略3の地域経済の活性化がうまくいくと地域の住民の皆さんが納得し成功には不可欠な部分である。地域経済の活性化は一長一短でありどのようにやればよいか非常に難しいものがある。コロナ禍で程よく田舎であり、都市部に通勤が可能またはリモートで仕事ができるなかで時間がある方は、都会から遠くないため、自然を楽しみながらスポーツに親しみながらおいしい空気とおいしい野菜があるなかで目指していくのがベターである。密にならない場所でのびのびと子供たちと遊ぶ、スポーツができる環境整備がとても大事である。</p> <p>しかし、大きな財源で新たなものをつくるのは非常に無理がある。市が目指していく高地トレーニング施設と市の特産物であるワインをうまく使い、自然の中で楽しいのびのびとしたところをうりにしてスポーツと絡めてやっていくのがチャンスになるのではないか。</p>
	会長	湯の丸単独で考えるより周辺の環境整備を行い、情報発信や情報提供をセットで考えることで波及効果が期待できる。
	会長	続いて、前期アクションプラン進捗管理総括表（具体的な取組み）について説明願う。
	事務局 (佐藤)	東御市スポーツ推進計画前期アクションプラン進捗管理総括表（戦略別）について説明。
	会長	数が多いのでご自身に関係のある場所を確認いただきご意見を願う。
	会長	チャレンジデーの評価がCとなっているが主催者である笹川スポーツ財団の小淵さんいかがか
	オブザーバー (小淵)	チャレンジデーの評価がCとなっているが、東御市は計画の目標値には達していないものの全国平均が例年を大きく下回る中、全国平均を越えておりもっと評価すべきである。
	委員 (篠原)	長野国民体育大会に向けて、県内の大学生・高校生をターゲットにしたセミナー開催について指導者に対してのアプローチがないと展開できないと思う。指導者に対してもアプローチをしていく必要がある。
職務代理者	篠原委員の話にもあったが、スポーツ推進委員の認知度が低く、市民の皆様により知ってもらうためPRを行っていく必要がある。	
委員 (岡田)	コロナ禍でどのように工夫しながらスポーツ振興をしていくかが後期アクションプランでは大事になってくる。それを反映したうえで作成していく必要がある。	

討議内容及び経過	(発言者名)	発言内容 (要点のみ記載)
(3) 後期アクションプラン策定スケジュールについて	会長	続いて、後期アクションプラン策定スケジュールについて事務局より説明願う
	事務局 (佐藤)	後期アクションプラン策定スケジュールについて説明。
	会長	質問・意見はあるか。
	委員	なし
	会長	意見・要望があれば別紙意見書へ記入のうえ事務局へ提出願う。
5 その他	企画振興部長	その他で何かある方はいるか。
	委員及び事務局	意見等なし
	企画振興部長	三溝職務代理者に閉会の言葉をお願いしたい。
6 閉会	職務代理者	閉会